
カレーなアタシ

高橋なつみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カレーなアタシ

【Nコード】

N3450F

【作者名】

高橋なつみ

【あらすじ】

カレー大好きな彼とアタシのお話。

アタシ、彼が大好き。

だから、アタシと彼はいつもひとつでいたい。

でも、「これがそう！」って思ったこと、一度もない。彼には何
度も抱かれたけど……そういうこと、小説じゃ「一つになる」って
表現するけど……

何だか違う。

彼の大好物はカレー。

カレーライスにカレーうどん、カレー味のジャンクフード……何
でもカレー味がお気に入りなんだ。

昨日も彼と、カレー味のカップヌードルを食べた。

だって、二人ともバイトとレポートでクタクタ。料理する気にな
らなかったんだもん。

今朝、バイトに行く途中、「朝っぱらから、どこの家のカレー作
ってんだろう」と思っていたら、バイト先の友達に「あんたからカ
レーの匂いがするよ」と言われた。

ホントだ――

アタシの胸元から、ほんのりたちのぼって鼻をくすぐる、スパイ

シーなああの香り。

バイトが終わって家に帰る頃には、もう消えてると思っていたのに……何だかどんどん強くなる。

ワンルームマンションの鍵を開け、玄関を上がったとたん、何だか体を動かすのがもどかしくなって、座り込んでしまった。

アタシ、このままカレーになっちゃうのかな。

きつと、昨日食べたカレーヌードルになるんだ。

彼がアタシの中にお湯を注ぐ。アタシ、彼の好きなちよっぴり辛口スープで、麺は固め。具も多目。食べ頃のアタシを、彼はズズツとすすむのね。

アタシは彼に噛み砕かれて、彼の中に吸収されるの。

彼の血管を、溶けたアタシはひたすら駆け巡る。細菌、ウイルス……侵略者を発見したら、ミクロなアタシに実体化して、白血球と一緒に戦うの。

アタシ、彼を守る愛の戦士——これ、一つになってるって感じじゃん。

アタシは、幸せの瞬間を夢見てここで待ってる。

ずっと待ってる——

ガチャツと鍵の開く音がした。アタシ、どのくらいここにいたん

だろう。

やっぱり彼だ——彼はいつも、合鍵で入ってくるの。

「ユキ！ユキ……あれ、いないのかあ」

ちょっと間延びした優しい声が、くすぐったい。

「バイトないつつつてたのに——おっと！」

彼の手が、アタシを掴み上げる。

「何でこんな所にカップ麺があんだよ」

彼の目が、じっとアタシをみてる。恥ずかしい。

「お、新発売かな。カレーヌードルじゃん！これ食って待つか」

彼の大きな手に抱かれて、アタシは部屋に連れていかれる。

彼がアタシをテーブルに置き、ポットの再沸騰ボタンをポチッと押した。

ああ、早くアタシをた・べ・て！

<了>

（後書き）

うちの職場の、受付嬢に捧げます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3450f/>

カレーなアタシ

2010年10月9日14時05分発行